

映画会 お知らせ

こどもえいがかい

開始 10:30~
(開場 10:15)

2/8(日)
『ムーミン 友情の巻』
2/15(日)
『雪の女王』
3/15(日)
『トムとジェリー
VOL. II』
3/22(日)
『チスト
みどりのおやゆび』

市民映画会

開始 14:00~
(開場 13:30)

2/8(日)
『永遠の愛に生きて』
2/15(日)
『すばらしき世界』
3/15(日)
『マーヴェリック』
3/22(日)
『夢』

おはなしのへや

おはなし会

2/1 2/21
3/1 3/21

親子おはなし会

2/20 3/27

2階おはなし会室にて
10:30~開始



CD&DVD 特集コーナー



旅立ち特集

1F 視聴覚コーナーにて展示中

【発行】所沢市立所沢図書館所沢分館 所沢市元町 27-1 ☎04-2923-1243

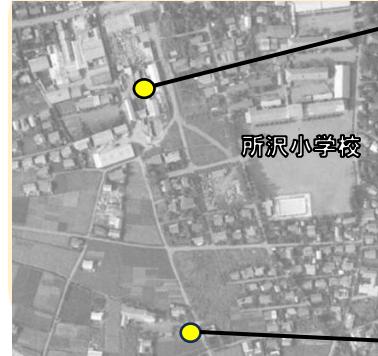
指定管理者：株式会社ヴィアックス

図書館だより No.121 (通巻)

とこぶん通信

2026
2・3

国土地理院撮影の空中写真 より(1961年撮影)



街道側から見た NTT 東日本



とこぶんさんぽ



猫塚をさがせ



所沢には昔、「福猫塚」と呼ばれる猫塚があったのはご存じでしょうか。

江戸の頃、鎌倉街道筋に和泉屋という料理屋があり、ある年の暮れ、一匹の猫が迷い込みました。食物を与えると猫はすっかりなつき、猫が店先で「おいでおいで」と手招きを始めました。その愛くるしさに店に立ち寄る人が増え、店は繁盛。「あれは福猫だ」と評判になりました。時は経ち、亡くなった福猫を奉るお堂が鎌倉街道の道の外れに建てられました。以降、福猫塚は商売繁盛の守り神として人々に親しまれてきました。

この猫塚、今は現存しておりません。「鎌倉街道を南へ進んだところ（※現電信電話局）の南、畑の中にポツンと石仏が立っていた。（中略）子供達は誰言うとなく石神様と呼んでいたが、あるいは「猫塚」であったかもしれない」（『むかしのところざわ百景』より）また、「左手の所沢小学校の西側あたりに、伝説で知られた福猫塚があった。」（『鎌倉街道をゆく』より）とあり、いずれにしろ元町の南側の旧鎌倉街道沿いに福猫塚があったと思われます。

※現在は NTT 東日本。

《参考文献》

『むかしのところざわ百景』峯岸正雄／著 1983年 <K/222/ミ>

『鎌倉街道をゆく』栗原仲道／著 埼玉新聞社 1999年 <K/682/ク>

イベントレポート

大人向け工作会 はじめての水引



指先を使うので
脳の運動にも！

素敵な作品が
できました！



12月13日（土）実施

所沢分館としては2回目の開催となる大人向け工作会「はじめての水引」。

今回はポチ袋などお正月飾りを想定して基本の梅結びを作っていただきました。最初はかなり苦戦していましたが、形が見えてくると顔がほころんでいき、もっと作ってみたいとたくさん作られる方もいました。家でもゆっくりやってみたいと、いう声もあり、最後まで充実した時間になりました。



とこぶんからのお知らせ

2月23日（月）～2月27日（金）

上記の期間、所沢図書館分館は
蔵書点検のため休館いたします。

※本館は、2月23日（月）、25日（水）～27日（金）開館しています。

「蔵書点検」とは、図書館の本がデータ通りに正しい書架に並んでいるか、不明になっている本はないかなどを確かめる作業です。

利用者の皆さんには、ご不便おかけして申し訳ございません。
ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

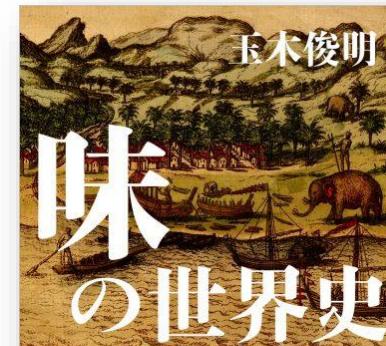


『味の世界史』

正木 俊明／著 SB新書 2024年

今私たちに身近な調味料が、古代から大航海時代を経て現代に至るまで、どのような時代背景のなか伝播していったのか、人と物が世界中をめぐる流通のダイナミズムに引き込まれます。

生活様式や価値観は時代とともに変わりますが、豊かさを求める人類共通の思いが世界を繋げていくグローバリゼーションの面白さに興味が広がり、もっと世界を知りたくなる、後をひく一冊です。



香辛料から砂糖、
うま味調味料まで



食の多様性は
いかに成立したか？

東南アジアとカリブ海をめざしてヨーロッパは拡大した——
経済史の視点から、資本主義の起源と展開に迫る。

『味の世界史』
正木 俊明／著
SB新書

推し本

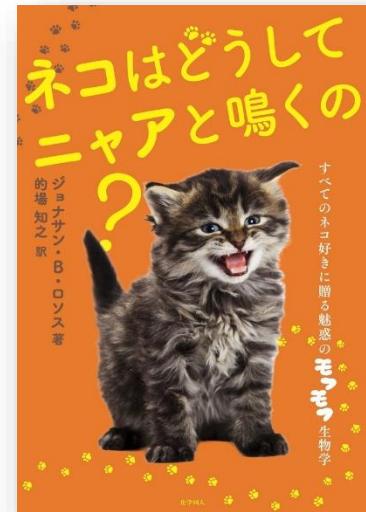
とこぶんスタッフ選

『ネコはどうして ニヤアと鳴くの？』

ジョナサン・B・ロソス／著 的場知之／訳
化学同人 2025年

トカゲ研究で有名なロソス博士がネコ愛あふれる考察を織りなす本書。

幼少期から筋金入りのネコ好きである著者が自身の学術的関心を結び付け、大学の講義をきっかけに学生たちと探求に乗り出しました。イエネコの進化生物学を新たな視点から語り、怪しい俗説にはツッコミを入れつつ、実体験や大胆な憶測も散りばめた決定版的内容です。ただ、博士の研究対象であるトカゲが捕食されているにも関わらず、愛猫の野外活動を容認しているという矛盾に、「ご主人様」には逆らえない人間らしさというべきか。



『ネコはどうして
ニヤアと鳴くの？』
ジョナサン・B・ロソス／著
的場知之／訳 化学同人